

報道各位

2026 年 9 月 1 日

TRE ホールディングス株式会社
荏原環境プラント株式会社
三菱ガス化学株式会社

国内初となる、木質バイオマスおよび廃棄物由来の グリーンメタノールを介した資源循環に向けた事業化検証を推進

TRE ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 COO:阿部 光男、以下、TRE)、荏原環境プラント株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長 佐藤 誉司、以下、荏原)、および三菱ガス化学株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:伊佐早 禎則、以下、MGC)は、TRE が賃借契約をしている千葉県市原市八幡海岸通の事業用地を候補地とし、国内の木質バイオマスおよび使用済みプラスチックを活用したグリーンメタノール製造とグリーンメタノールを介した資源循環への事業化(以下、本取組)の検証を行います。

グリーンメタノールの製造は 2031 年の開始を目標として、3 社は共同で各々の事業展開を通じて蓄積したノウハウを結集し、国内初となる商業規模(年産数万トン規模)のグリーンメタノール製造を起点とした資源循環の事業化を目指します。

メタノールはほぼ 100%輸入に依存しているため、昨今の地政学リスクの高まりから、木質バイオマスや使用済みプラスチックなどの国内循環資源の活用が期待されています。またメタノールはプラスチックや接着剤、燃料などに幅広く使われる重要な材料であり、リサイクル可能な循環資源からつくられる「グリーンメタノール」を化学品原料、エネルギーとして利用することが炭素循環社会の構築、GX 実現に貢献する新たな選択肢として注目されています。

TRE は、WX^{*1}環境企業として廃棄物・資源のリサイクルや再生可能エネルギー事業等に取り組んでおります。本取組においては、原料として年間、木質バイオマス 10 万トンと使用済みプラスチック 6 万トンを千葉県を中心に首都圏から調達し、メタノール製造に適した原料として荏原に供給します。木質バイオマスは、千葉県森林組合と連携し、森林整備計画に基づいて安定的に供給することを目指します。また回収する使用済みプラスチックはその品質によって分別し、受入れた全量を限りなくリサイクルすることを目指します。

荏原は、廃棄物を資源へと変える「アップサイクラー」として、循環型経済の実現と脱炭素社会の形成を牽引していきます。本取組では、TRE より供給される原料を荏原の高度なガス化技術によって合成ガスに転換し、MGC へグリーンメタノール原料として供給します。長年にわたる技術開発と社会実装の経験を活かし、国内初となる木質バイオマス・廃棄物由来のグリーンメタノールの安定製造を支え、社会全体のグリーントランジションに貢献してまいります。

MGC は、環境循環型プラットフォーム「CarbopathTM(カーボパス)^{*2}」を通じ、循環型社会の実現を推進しています。本取組では、TRE が供給する木質資源や廃棄物から荏原が製造する合成ガスを原料として、グリーンメタノールの製造・販売を行います。循環資源を元に製造したグリーンメタノールは GX を必要とする各種化学品の原料としての活用に加え、船舶燃料等での CO₂ 排出削減を可能とするエネルギーとして利用されることで、国内産業のカーボンニュートラル化および資源循環の推進に貢献します。

3 社は、未来へ向けた課題解決と革新事業に取り組む、地域創生に寄与しながら、環境・社会・経済価値を追求し提供していくことで、持続可能な社会の構築に貢献していきます。

※1 [WX\(Waste Transformation\)](#):

これまで資源化の難しかった廃棄物、使用済製品についても技術的、採算的課題克服に挑戦し、循環資源に変革していくこと。

※2 [Carbopath™](#)(カーボパス):

三菱ガス化学が推進する、CO₂やバイオマス、廃棄物からメタノールを介してエネルギーや素材を生み出す、環境循環型プラットフォーム。グリーンメタノールを起点としたバリューチェーンを構築することで、環境・経済・社会が調和する未来の実現を目指す。

以 上

<本件お問い合わせ先>

TRE ホールディングス株式会社 IR 広報部

TEL:03-6327-2622

荏原環境プラント株式会社

事業・開発統括部 ソリューション事業開発部

<https://www.ebara.com/eep/jp-ja/contact/>

三菱ガス化学株式会社 総務人事部広報グループ

TEL: 03-3283-5040